

**第 9 3 回**  
**沖縄地方交通審議会**  
**船員部会 議事録**

平成 2 8 年 7 月 2 1 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

## 第 9 3 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平成 2 8 年 7 月 2 1 日 ( 木 ) 1 4 時 0 0 分  
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 「 海 技 試 験 室 」

出席者：

公 益 委 員	宮里委員、儀部委員、春田委員
労 働 者 委 員	大崎委員、屋比久委員
使 用 者 委 員	大城委員、宮城委員

沖 縄 総 合 事 務 局 野原船舶船員課長、宮城課長補佐、  
普天間専門官

### 議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 9 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 等 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

( 配 付 資 料 )

1. 第 9 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 ( 案 )
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 ( 平 成 2 8 年 6 月 分 )
3. そ の 他

### 宮里 部会長

定刻となりましたので、第 93 回 船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

### 事務局（普天間専門官）

本日は、公益委員 3 名、労働者委員 2 名、使用者委員 2 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

～配付資料確認～      以上です。

### 宮里 部会長

それでは、始めに第 92 回 船員部会の議事録の承認についてお諮りします。お手元に配付されています議事録を御確認ください。

御異議はございますでしょうか。ないようでしたら、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

### 各委員

（「異議なし」）

### 宮里 部会長

それでは、異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題 2 の管内の雇用状況等につきまして、事務局にご説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。よろしくをお願いします。

### 事務局（宮城補佐）

平成 28 年 6 月分の管内雇用状況等の概要について報告いたします。

#### ●求人状況について

新規求人数は 6 件でした。前月に比べ増減なし、前年同月に比べ 7 件減少となっております。

月間有効求人数は 23 件でした。前月に比べ 1 件増加、また、前年同月に比べ 3 件増加となっております。

月間有効求人数 23 件の内訳としましては、商船等 22 件、漁船 1 件となっております。月末未済求人数は 9 件でした。

#### ●求職状況について

新規求職数は 6 名でした。前月に比べ 4 名増加、また、前年同月に比べ 6 名減少となっております。

新規求職数 6 名の内訳としましては、すべて商船等となっております。

す。

月間有効求職数は１６名でした。前月に比べ１名減少、また、前年同月に比べ９名減少となっております。

月間有効求職数１６名の内訳としましては、商船等１４名、漁船２名となっております。

月末未済求職数は１１名でした。

● 成立状況について

６月は０件でした。

● 求人倍率について

６月の月間有効求人倍率は、１．４４倍でした。

前月に比べ０．１５ポイント増加、また、前年同月に比べ０．６４ポイント増加となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

６月の新規求職者６名のうち、離職者２名の退職理由としましては、２名とも船舶所有者都合等となっております。離職以外の方４名の求職理由としては、就業中に転職を希望するもの３名、新卒者等が１名でした。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が４名、管外が２名となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は１名、支給延べ件数は１件で、基本手当支給金額は１４０，３９２円、その他再就職手当の支給が１件あり、再就職手当給付金額は、３０４，７７６円で、総支給額は４４５，１６８円でした。

以上で管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里 部会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますか。

大崎 委員（労）

４ページの月末未済求職ですが、遠洋の事務部に１人おられますが、沖縄で遠洋の貨物船で事務部の就職口はあるのですか。

事務局（宮城 補佐）

遠洋の船は沖縄には確かにないですね。

大崎 委員（労）

ないですね。そこで沖縄総合事務局に４０歳以上５０歳未満でこれを出したというのは理由はわかりますか。

事務局（宮城 補佐）

この方は、調理師免許を持っていて、陸上の方から船の方に行きたいということで、求職しているのですが今のところまだ成立してません。

**大崎委員（労）**

船舶調理士免許を持っているのですか。

**事務局（宮城補佐）**

調理師の免許です。

**大崎委員（労）**

陸上での経験のみではすぐには働けないので、この状況では遠洋には多分乗れないと思います。このまま待つより近海の方で求人が出ているのでそちらの会社で相談してみれば何とかなる可能性もあるかと思いますので、今後できればその無駄に時間を潰すよりは、船舶調理士の資格を取る方も目指していただいた方がいいと思います。

**宮里部会長**

基本的な質問になりますが、普通の調理師免許を船舶調理士免許は違うのですか。

**大崎委員（労）**

違います。免状が違い陸上のものをそのままでは使えません。ある程度船上での経験が必要で、船舶料理士は海上部の履歴がないと1人では乗れないと思います。

**宮里部会長**

はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。

**春田委員（公）**

失業等給付に傷病手当がありますが、病気になった時に健康保険等で給付がありますが、それを雇用保険から給付をするという制度設計を考える先生がおり、いい意見だと思い、それが先行して仮に傷病手当が雇用保険から出るとどうなるかと思つての質問です。うつ病が医療の健康保険でなく、雇用継続のために財源が充実している雇用保険での給付を検討することも良い考えではないかと思います。

**宮里部会長**

傷病手当が健康保険でなく雇用保険からですか。

**大崎委員（労）**

労災と私病の話との関係があり、先生が今いわれたやつは、うつだと労災になる可能性もあるし、分からないですね。労災だったら雇用保険使えるわけだし、その職業病みたいな観点が立証できれば、いけるのかなとは思いますが。船員保険とまたそうすると陸上の場合

補償が若干違うかと思います。

**宮里部会長**

何かほかにありますか。

ないようでしたら、議事３の意見交換に移りたいと思いますが何かございますでしょうか。

**大崎委員（労）**

先日新聞報道で船員法の対応をせずに船員として勤務させていた会社があったようですが、総合事務局のそのときの対応、今後の指導並びに罰則等、沖縄県において同様に違法なことをしている会社があるのか。また、総合事務局に対し、指導を求めてきた船員が不利益な取り扱いをされていなかったのかということが心配です。

船員法では１１２条で船員の申告というのがあって、この法律、労働基準法またはこの法律に基づいて、行政機関にその事実を申告することができる。とあり、第２項では申告したことを理由として、船員を解雇しその他船員に対して不利益な取り扱いをしてはならない。と明記されてます。

この会社に対する対応と沖縄県全体として、このままこのような指導だけでいいのかということをご教示下さい。

**事務局（野原課長）**

船員としての実態がありながら、陸上の労働者としての待遇を受けていたという状況に関しましては、内容を知り、確認した時点で、船員法の適した形で会社を指導等しております。これに関しましては、船員法の中では、まず是正を求めることになっておりまして、この指導に従わない場合、船舶の運航の安全性が損なわれる場合については、航行の停止を求めることも法律で謳っております。まず、会社には是正をさせることが第一だと思います。

罰則ですが、船員法の条項に対応する罰則がありますが、先程お話ししましたこの命令に違反した場合、従わない場合は、今回ですと１０１条第１項の規定で命令に違反したものとなった場合は３０万円以下の罰金というのも、船員法の中では謳っております。

船員としての実態があるのにもかかわらず、陸上の職員のような形で適用を受けているところにつきましては、是正を求めていきたいと思えます。

**大崎委員（労）**

ほかに沖縄では同様なそういう是正を求めている会社がありますか。

**事務局（野原課長）**

今はありません。

**大崎委員（労）**

たまたまピックアップされただけであればいいのですが、結局水

面下では、いろいろな会社がありますので、そこは今後是正していただければと思います。私が1番心配なのは、もしその船員として雇い入れ契約がないまま海上労働をさせられた時に、海中転落して死亡した場合、最悪、そのときの災害補償が海上の船員保険が適用できなかったら、非常につらい思いをするのではないかというのがあって、社会保険の中で陸上と一緒に社会保障でいいわけないですよ。海上は船員保険に入っておればある程度手厚いものがもう少しあったと、今は少し変わったのですが、この間も話しました労災は陸上と一緒にになったので分かりにくくなりましたが、ある程度、そこは住み分けというか、労災保険の中で、掛け率も当然違うので、危険度が増している業種ですのでそこはきちんとしていただきたいとの意見です。よろしくお願いします。

**宮里部会長**

私から一点良いですか。海事土木というのがありますが、護岸工事や潜水服を着て行う仕事等には船員法が適用されますか。

**大崎委員（労）**

台船については、労働基準法、雇用保険適用であり船員ではありません。陸上の保険になります。船員は総トン数5トン以上の船舶が対象です。

**事務局（宮城補佐）**

潜水土でも5トン以上の船舶に乗り組み、常時作業される方は船員になってきます。

**事務局（野原課長）**

ただあの船に乗せてもらって、現場に行って潜るだけだと船員ではないという判断になるかと思います。

**宮里部会長**

気になる方から交通事故の相談があり、職業は潜水夫ですが異常に給料が安いと思ひまして。普通、海上土木に携わっている人は月給30万円以上もらっているのが普通だと思ってますが、九州から出稼ぎにきて那覇空港の海上土木で14、5万円しかもらっていないようで、船員法にも反するのではないかと思い、過酷な労働時間も聞いており少し問題があるのではと感じて、どちらが適用されるかと思いました。では普通の労働基準法ですね。

**大崎委員（労）**

その職種が船員法の中の職員のランクにないので、甲板部、機関部、事務部等の位置づけの中でいければ船員と思いますが、その他の船員という位置づけで労働者の位置づけがそこにあるかどうかという点と厳しいかと思います。。

**宮里部会長**

はい、分かりました。ありがとうございました。では、他に何かございますか。

他にないようであれば事務局から情報提供がありますのでお願いします。

**事務局（普天間専門官）**

その他資料ということで2枚配付させていただきました。沖縄地方内航船員確保推進協議会で6月29日に八重山地区の高校の進路指導教諭を対象に海事セミナーを開催しましたところ、地元新聞の記事に掲載されました。将来の船員という職業に興味のある生徒1人を含めて3校から8名参加しました。

今後、25日から高校生向けのインターンシップ、8月19日に配付資料にある中学生向けの体験学習、秋頃に小学生向けの海事教室を実施する予定です。

**宮里部会長**

ありがとうございました。学費が2年間で寮費も込みで125万円ですか。

**事務局（普天間専門官）**

海上技術短期大学校といいまして高校卒業後2年間で船員の資格である海技免状が甲板、機関の両方取れるということで、独立行政法人で費用もリーズナブルなため、最近は人気があり倍率も3倍程度と聞いております。場所は沖縄県外で、波方、宮古、清水にあります。

**宮里部会長**

2年で寮費も入れてこの費用であつたら安いですね

**事務局（普天間専門官）**

就職率も100%近くで必ず就職できると聞いております。

**宮里部会長**

ありがとうございました。それでは最後に事務局から連絡がありますのでお願いします。

**事務局（普天間専門官）**

最後に8月の船員部会は、8月18日（木）に5階の海技試験室で14時より開催いたします。出席できない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、いつもどおりメールで照会させていただきますのでよろしくお願いいたします。

**宮里部会長**

それでは、本日の部会はこれで終了します。ありがとうございました。